

季節

～時代をかける生徒会～



第二号

石田絢子 高橋有希奈 掛川萌恵
井上陽介 樋口雄大

文化祭募金結果

第三十九回文化祭において集められた募金の結果が、十一月三十日の読売新聞に掲載されました。

協力いただいた皆さん、ありがとうございました。そして、前期代議員の皆さんごくろうさまでした。

光と愛の福祉寄金

▽11万5917円 大和郡山市、奈良学園中学校高等学校生徒会。9月9日に開いた文化祭で、被災者支援の募金活動を実施。代議委員会の呼びかけで各クラスがミニマグネットを作り、募金に協力した人たちに配った(寄付は郵便振替で00930・1・24380、読売光と愛の事業団大阪支部へ)

ビブリオバトル

十一月十七日に図書委員会によるビブリオバトルが開催されました。三人参加され、優勝は高校三年F組森田航生さんでした。長谷部誠さんの「心の整え方」という本を紹介されたそうです。

今回は開催前に通知することができなかったうえに、生徒会役員も参加できませんでしたが、次回からは皆さんにお知らせできるようにしていきます。



校外・校内清掃

十二月十一日の期末考査終了後、美化委員会の校外・校内清掃に生徒会も参加させていただきました。

大和小泉駅方面の自転車通学路には思っていたよりもタバコやペットボトル等のゴミが多く捨てられていると感じました。皆さんはポイ捨てなどは絶対にしないで下さい。さらに、美化委員会だけでなく、皆さんにも校内外の美化について意識してもらいたいです。

(美化委員長 中村)



フリートーク 〜とある生徒会の日常〜

今回はこの新聞の題名でもある「節」をテーマに語っていきます。

今期の生徒会新聞の題名は「節」となりましたが、前回の新聞にも掲載したように、「節」の由来は平成と新元号との節目と、奈良学園創立四十周年の節目が重なったことでした。ちなみに、皆さんは「節」と言われると何を思い浮かべますか。思うことは人それぞれだと思いますが、多くの人は竹の「節」を思うのではないのでしょうか。一本の竹には節が六十本程あると言われています。その一つ一つの節には成長するために必要な部分があります。多くの植物なら、この部分は、茎の先端にあるのですが、竹だけは、一つの節ごとに、この部分があります。だから、竹は成長が早いのです。

来年という年は、中学生から高校生になる僕にとって、とても大事な一年になると思います。その来年の一年で、ぐんと大きく成長できるように、この年末に、竹の「節」を一つ、自分の中に作っておきたいと思っています。

(中学書記 樋口)



2018年ももう終わり…

清水寺で発表された今年の漢字は、「災」でした。

生徒会を代表して私が選んだ漢字は、「支」です。初めてのインターハイ予選に出場した時や生徒会選挙に立候補した時、沢山の人の支えてもらいました。皆の支えがあったからこそ今の自分があると思います。

皆さんも今年の漢字を考えてみるのはいかがですか？

それでは、よいお年を！

(生徒会長 石田)

クリスマスコンサート

十二月二十二日の放課後、DANCE&VOCAL部、軽音楽部の皆さんによる、クリスマスコンサートが行われます！

DANCE&VOCAL部

午後一時三十分～二時三十分

今年は、例年とは少し違った感じで、劇に合わせて歌とダンスと笑顔をお届けします。部員十七名、精一杯がんばりますので、ぜひ見に来てください！

軽音楽部

午後三時頃～四時

今回のクリスマスライブはこれまでのライブよりも進化しています。軽音ライブを見たことがないという人も、いつも来てくれていた人も、ぜひ盛り上がりに来てください！

第三号もお楽しみに！